

地区名	瑞浪地区（寺河戸等）	番号	1
タイトル	駅周辺のまちづくりについて		
ご意見の内容			
<p>駅の北側と南側は、駅、線路で分断されている。これをうまくつなぐことで、開発がよりうまく進んでいくと思うが、そのような計画はあるか。</p>			
市長の回答	担当課	都市計画課	
<p>計画当初から、北と南をつなぐことについて意見はありましたが、それを実施するためには、大きな予算が必要となるため、あまりにも負担が大きくなります。負担が大きくなる方法として、瑞浪駅北口に改札を設置することで、駅を利用する方が北側にも南側にも移動できるようにし、北側と南側をつなぐ新たな機能を導入したいと考えます。</p> <p>また、現在の地下自由通路につきましても、より安心して快適に利用していただけるように、内部や出入り口の改良を検討していきます。</p>			

地区名	瑞浪地区（寺河戸等）	番号	2
タイトル	建材費や人件費の高騰による事業への影響について		
ご意見の内容			
<p>本日説明のあった事業について、大きな費用がかかる事業ばかりである。計画が進む中で建材費や人件費のさらなる高騰が進んだ場合、計画している事業については、予定通り進めるのか、縮小するのか又は取りやめるのか。</p>			
市長の回答	担当課	健康づくり課 都市計画課 警防課 クリーンセンター	
<p>新病院の建設については、すでに物価高騰の影響が出ています。12月頃に最終的な建設費用が決まってきますが、その費用が予定より上昇した場合は、瑞浪市、土岐市、JA岐阜厚生連にて、負担することとなります。</p> <p>駅北整備事業についても、国からの支援を得ながら、進めていきます。物価の高騰により、事業を止めて数年後に実施する場合、数年後に物価が安定している保証はありません。今なら瑞浪市に財政的な体力もあり、南地区については参加される地権者や組合の方にも体力があります。また、国や県からも支援が得られます。仮に事業を止め、10年後に再度行うことにした場合、同じように事業ができるかはわからないため、今実施すべきではないかと考えます。</p> <p>瑞浪市は、この16年間にわたり、行財政改革を行い、実施すべき事業は予算を確保して実施しながら、瑞浪市が抱えていた市債を百数十億円削減してきました。これは、次の大きな投資を見据えて行ってきたものです。そのため、新たな投資を行っても財政的に耐えうるだけの財政基盤ができているということをご理解いただきたいです。</p> <p>消防指令センターについては、5市で共同運用することで、通信指令システムに係る経費を削減することができ、大きな安全が確保できます。広域連携は、未来に向けて備えた行財政改革の大きな柱になります。</p> <p>ごみの焼却場について国は、人口5万人以下の自治体の焼却場の建て替えに対しては、補助金の対象にしない方針であります。そのため、瑞浪市は、多治見市や土岐市に対して、一緒に建て替えを行うように働きかけており、3市の市長の取り決めの中では、その方向で意思確認はできています。</p>			

地区名	瑞浪地区（寺河戸等）	番号	3
タイトル	ごみの焼却場の広域化と電源立地交付金について		
ご意見の内容			
<p>ごみの焼却場の広域化は、どの組織が実施していくのか。東濃西部広域行政事務組合で行うのか。</p> <p>これまで瑞浪市は、電源立地の交付金を使って政策を実施してきたが、今後はその交付金がない。使える財源が少なくなることについて、どう考えるか。</p>			
市長の回答	担当課	クリーンセンター 総務課	
<p>東濃西部広域行政事務組合は、瑞浪市、土岐市、多治見市の3市で、狂犬病の予防接種等の市民サービスの維持を目的に負担金を出し合って設置されている組織です。この東濃西部広域行政事務組合にて今年度、どの程度のゴミが出るのか、どの程度の施設が必要となるのかについて調査を行います。調査結果を踏まえて、3市で共同で建設することになった場合は、今後議論をしていく中で、どのような組織で行うかを検討していきます。</p> <p>電源立地の交付金については、瑞浪市が高レベル放射性廃棄物の地層処分について、市有地等にて日本原子力研究開発機構が20年間研究を行ってきました。研究は終了し、大きな成果がありました。将来、日本のどこかに最終処分場が建設される際には、瑞浪市で研究した成果が活用されます。このような研究施設を瑞浪市が受け入れたことで、原子力行政に協力した自治体に交付される交付金が瑞浪市に対して、21年間交付されてきました。</p> <p>ただ、この交付金はいずれ交付されなくなるとの考えのもと、交付金を活用して事業を進める一方で、市債（市の借金）の繰上償還や基金への積立てを続けてきました。そういった行財政改革を行う中で、100億円以上の市の借金を削減することができました。決して余裕があるわけではないですが、交付金がなくなったために成り立たないような厳しい財政状況ではないので、ご安心いただきたいです。また、必要な事業はしっかり予算確保して実施しています。</p>			

地区名	瑞浪地区（寺河戸等）	番号	4
タイトル	瑞浪駅周辺の計画について		
ご意見の内容			
<p>説明のあった駅周辺の計画については、市民から要望があったものか。  また、この政策については、何を持って評価するのか。  加えて、文化センターや図書館機能が駅前の施設に移動した後、既存の文化センターや図書館の施設はどうなるのか。</p>			
市長の回答	担当課	都市計画課 企画政策課	
<p>地元の自治会、商店街やこれまでの市民アンケート等で要望を受けています。事業評価の判断材料としては、施設の利用者数が一つの目安となります。市議会においても事業評価をしていただきます。想定より利用者数が少ないようであれば、改善をしなければいけないと考えています。市民の皆さんが毎日でも行きたくなるような施設にしたいです。文化センター機能や図書館機能は、同規模のものではなく、人口減少を見据えた規模のものとなります。その中でも先進事例を参考としながら魅力のある施設にしたいと考えています。  既存施設の後利用については、現時点では具体的に考えていませんので、今後検討していきます。</p>			

地区名	瑞浪地区（寺河戸等）	番号	5
タイトル	本日の説明の全般について		
ご意見の内容			
<p>新病院建設については、やむを得ないと考える。理由として、医者の確保について単独市では確保できない。また、土岐市では、医者の給料を支払うため、財政的に厳しいと聞いている。中核病院に医者が来てもらえるのは、研修の環境が整っているためと考えている。その環境も単独市では、厳しいと考えるためである。後利用についてであるが、新病院建設後に、現在の東濃厚生病院の検査棟にて、現在土岐市の駄知町の診療所で行っている休日診療所機能を引き受けてはどうか。</p> <p>駅北の複合施設に市民が何を求めているかについて、アンケート等を実施しているのか。駅北と駅南は、分断されていると感じる。本日の説明の中で、駅北に改札を設置するとの説明があったが、学生や通勤等で駅を利用する方に影響があるだけで、駅の利用者でない場合、現状と変わらないのではないかと。よりよい方法で駅の北側と南側が繋がるとありがたい。</p>			
市長の回答	担当課	健康づくり課 都市計画課	
<p>休日診療所は、新病院の敷地内に設置する予定です。</p> <p>駅北の複合施設の機能については、市民のニーズを既に聞いています。今後も意見があれば、反映できる意見は反映していきたいと考えています。車利用者の駅北と駅南の接続については、駅の西側の踏切については、既に拡幅しているのでご利用ください。</p>			

地区名	瑞浪地区（寺河戸等）	番号	6
タイトル	タクシーの利用について		
ご意見の内容			
<p>瑞浪市では、タクシーの利用がしづらい。タクシーの利用に対して補助金を出して、夜の遅い時間でもタクシーが利用できる環境になるとよい。また、新病院もできるので、病院に行く方のタクシーの利用に補助金を出してはどうか。何とか、タクシーの利用ができるようしてほしい。</p>			
市長の回答	担当課	商工課	
<p>タクシー事業者の経営方針でタクシーよりもバス事業を主力とし、夜のタクシーについては早めに切り上げるような営業形態にされた事業者もあります。そういったこともあり、夜のタクシーが少ない状況です。日中については、コミュニティバスやデマンドタクシーがあります。また、新たな交通システムを検討するため、協議に入っています。ただし、夜については、なかなか希望に答えられない部分がありますので、課題として、受け止めています。</p>			